

開催日及び場所		令和元年9月13日(金)	横浜植物防疫所会議室	
委員		吉武 雅子(大学講師) 田邊 清貴(公認会計士) 田鍋 智之(弁護士)		
審議対象期間		平成31年4月1日～令和元年6月30日		
審議対象案件		117件 うち、1者応札案件30件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件		
抽出案件		7件 うち、1者応札案件4件 (抽出率 6%) (抽出率13%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件 (抽出率0%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	0件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件	
		指名競争	公募型指名競争	—
			工事希望型競争	—
			その他の指名競争	—
	随意契約	—		
	業務	一般競争	—	
		指名競争	公募型競争	—
			簡易公募型競争	—
			その他の指名競争	—
		随意契約	公募型プロポーザル	—
			簡易公募型プロポーザル	—
			標準型プロポーザル	—
	その他の随意契約		—	
	物品・役務等	一般競争	6件 うち、1者応札案件4件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件	
		指名競争	—	
		随意契約(企画競争・公募)	—	
随意契約(その他)		1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件		
(特記事項) 特になし				
委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問	回答等	
		複合機保守管理業務(横浜本所、成田支所、羽田支所)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約の相手方は複合機の会社の代理店なのか。</li> <li>・代理店ならば他社が入る余地があると思うが、ねずらむはリコーの製品を扱っているのか。</li> <li>・複合機の購入と保守は分けて契約しているのか。</li> <li>・購入時に競争は起きていたのか。</li> <li>・今の相場を考えると単価が高いのではないのか。</li> <li>・今回はこの内容で契約せざるを得なかったのか。</li> <li>・契約の際に、相手方に現在の相場を提示して交渉をすることは可能か。</li> <li>・機械を購入される際に保守のカラー代金やインク代は入っているのか。</li> <li>・一度購入すると何年使えるものなのか。</li> <li>・横浜本所の単価が一番高いのか。</li> <li>・成田支所の分は横浜本所で契約しているのか。</li> <li>・リコーの代理店はねずらむだけではなくと思われるため、他社に変えても良いのではないのか。</li> <li>・他の支所から見ると、なぜ横浜だけ単価が高いのかと疑問に思うのではないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのとおり。</li> <li>・そのとおり。</li> <li>・そのとおり。</li> <li>・複数の大手メーカーの入札があった。</li> <li>・今年はキャノン製品について、モノクロ1円、カラー7円で契約しているところ。より安い方向には推移している。</li> <li>・そのとおり。リコーの機械のため、どうしてもリコー間での保守となってしまう。</li> <li>・競争相手がいないので難しい。</li> <li>・入っていない。機械のみの価格となっている。</li> <li>・5年ほど使用できると考えている。</li> <li>・機械の更新の際に1枚あたりの単価が安い製品に切り替えているが、今回の入札の結果はそうになっている。</li> <li>・成田支所で契約している。</li> </ul>
		動物検疫所における宅配便等運送業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ日本郵便が入ってこないのか。</li> <li>・支所でもこのような契約を結んでいるのか。</li> <li>・単価一覧表があるが、これは企業向けか、もしくは個人向けか。</li> <li>・日本郵便が対応できないというのは、仕様書にある4.特記事項の(3)冷蔵・冷凍宅配便があることなのか。</li> <li>・冷凍品、冷蔵品を分離して発注することはできないか。</li> <li>・佐川急便は入ってこないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本郵便に依頼をしたが、冷蔵品や冷凍品をコンスタントに配送するのが難しいという回答があった。</li> <li>・成田支所ではヤマトと契約している。毎年日本郵便に依頼しているが、クール便が難しい、これ以上入手が回せないという回答があった。</li> <li>・これはホームページに掲載されているものであり、広く一般向けのものである。</li> <li>・そのとおり。</li> <li>・分離すると、それぞれでまた競争をする必要がある。</li> </ul>
		車両点検整備等業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量が多いことによって価格が下がらず、単価表の金額が固定的であるならば、冷凍品、冷蔵品の分離に固執する必要はないと考えられる。ただ、分離することによりスケールメリットが感じられず、不落になるのも困るのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐川急便は時間指定が難しいという回答だった。事後審査票の1者応札となった原因の「本州内は翌日発送が可能であること」について確約できないという記述は佐川急便によるもの。今後は、仕様書の記載を外すなどして、競争性を確保するといった検討が必要と考えている。また、日本郵便の件でもあった冷蔵品、冷凍品を分けるということも検討の余地がある。</li> <li>・件数等の実態を勘案しながら、競争が働くよう検討することとした。</li> </ul>
車両点検整備等業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点検とは定期点検か</li> <li>・委員；車両は何台か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのとおり。</li> <li>・16台である。動物検疫所8台、植物防疫所で8台となっている。</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見積の取り方はどのようにしているか。</li> <li>・この単価表の単価はどの業者から聞いているか。</li> <li>・毎回3社ほどが出てくるのか。</li> <li>・入札価格の違いはどこにあるのか。</li> <li>・継続検査代料が0円になっているのはなぜか。</li> <li>・自動車点検整備等車両一覧表の点検整備区分に6ヶ月とあるが、これは6ヶ月点検も行うという意味か。また、日産以外の車も点検してくれるのか。</li> <li>・車両の購入は車種に関係なく標準的な機能を持つ車を購入しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業者から単価の見積を取っている。</li> <li>・今回落札した日産大阪である。</li> <li>・昨年度も3社であった。</li> <li>・総価での比較であり、入札金額計算書（内訳書）の比較をしていないので分からない。</li> <li>・通常、我々が車検を出す手数料が取られるが、今回は徴収しないということで見積を出していると認識している。</li> <li>・そのとおり。</li> <li>・国における車の購入については、総合評価落札方式が取られており、必要とする仕様を提示した上で、燃費等を含めて点数化し総合的に評価して決定している。</li> </ul>
	<p>動物検疫所における作業環境測定業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は2社の入札だが、毎回何者くらいで競争しているのか。</li> <li>・その時は大和サービスやユーロフィン日本環境は入っていなかったか。</li> <li>・環境測定をする中で異常が出たことはあるか。</li> <li>・前回と環境測定の内容は変わらないか。</li> <li>・前回はいくらだったか。</li> <li>・環境測定においては調査をするだけで、例えば有害物質が見つかった場合に無害化することはないのか。</li> <li>・環境測定分析料金という資料があるが、これは測定関係の料金表の一覧みたいなものか。</li> <li>・なぜ29年度は安かったのか。</li> <li>・人件費だけでなく、薬品の価格が上がると値段が変わるということはないか。</li> <li>・29年度の落札価格自体が安すぎるということではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2〜3者で競争している。ここ3年は2社応札となっている。</li> <li>・入っていなかった。</li> <li>・出たことはない。</li> <li>・変わらない。</li> <li>・29年度は105万円で30年度は150万円だった。</li> <li>・そのとおり。除染まではしない。</li> <li>・こちらは分析項目別のおおまかな分析料金を定めたものである。</li> <li>・競争の結果、富士産業が安かったということ。また、30年度は1社応札の影響があって価格が上がったと考えられる。</li> <li>・そのようなことはないと考えている。</li> <li>・確かに29年度は安かったが、契約内容は遂行している。</li> </ul>
	<p>動物検疫支援システムのクラウドサービス提供業務一式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物検疫支援システムの案件はずっとあるのか。また、現在どのような位置づけにあるのか。</li> <li>・この金額が安い高いかが分からないため、比較対象となる物はあるのか。</li> <li>・クラウドサービスは計画だと何年ほど運用する予定か。</li> <li>・これは動物検疫所の全支所の空間を網羅しているのか。</li> <li>・1つの空間に統合してシステムを構成するという方法は他の省庁と同じやり方か。</li> <li>・このような入札は随意契約となるのか。また、随意契約とならないパターンはあるのか。</li> <li>・クラウドの仕組みを作るということでサーバーは何台か設置をしているのか。</li> <li>・このような技術契約をする際には、成果品の確認をする必要があるが、チェックは動物検疫所の誰が担当しているのか。</li> <li>・何年か使用するうちに不具合等が生じるのではないか。</li> <li>・システムに何か手を加える際の管理体制はどうなっているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・去年からクラウドサービスに移動したが、システム自体は同じ物である。現在、移行先のハードウェアを貸してもらい、それに対して使用料を払っている。</li> <li>・クラウドサービスは会社によって値段設定が異なる。今回は、落札した会社がこの値段で動物検疫所が必要としている資材を提供してくれている。昨年度は、クラウドサービスの金額と引越しの費用をまとめて入札しており、昨年度の段階で一度競争をして、安かった会社のクラウドに引越しをしている。</li> <li>・農林水産省のCIO補佐官に運用期間を尋ねたら、およそ4〜5年経過した時点で見直しを行い、引越しをしても費用の元が取れるサービスがあれば、その段階で引越しをするという選択肢を検討してもよい。引越しの金額の差があまりない場合は、使い続ける手もあるという回答があった。これを踏まえて、3〜4年経過した段階で、他社のクラウドサービスの状況を調査する必要があると考えている。</li> <li>・そのとおり。インターネットのウェブの要領で、必要とする場所にアクセスして、情報を引き出すことができる。</li> <li>・そのとおり。現在は機械の購入ではなくクラウドへの移行となっているため、農林水産省でもクラウドへの移行を進めている。</li> <li>・一度引越しをした後は随意契約となる。他の省庁の契約形態聞いたことはないが、CIO補佐官に随意契約になるという話を聞いて、否定的な意見はなかったため、省庁においては他でも随意契約で契約していると考えられる。</li> <li>・現在は仮想化されており、無数のサーバーがあり、これが1つの大きなシステムを作っている。その中で、動物検疫所が必要とするサーバーを作っている。機械自体が6台あるということではなく、機能として、大きな空間の中に6種類のサーバーを構築している。</li> <li>・調査課が担当している。</li> <li>・システムを使用して何年か経つため、不具合が出た部分については少しずつ改修をするなどして対応しているところ。</li> <li>・手を加える際には、動物検疫所と協議し、修正内容について合意してから行う。修正後は内容に問題が無く使用できるかを確認して、問題が無ければ終了、問題があれば改めて確認と修正をってもらう体制をとっている。</li> </ul>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p> <p>[これらに対し所長が講じた措置]</p>	<p>特になし</p>	